

「南部町国土利用計画(案)」に対するご意見に対する町の考え方は、次のとおりです。

整理 番号	項目	意見概要	ご意見に対する町の考え方
1	第2章 第3節 利用区分別の土地利用の基本方針 1 農用地について 第4節 土地利用の目標 3 町土の利用区分「農用地」	<p>現状の「農用地」が実際どうなっているか確認しているのは大事な気がする。昔は田んぼとして使われていたり、果樹園になったりしていたところも山みたいになっている場所もある。</p> <p>農地として今後も使いたい人や使ってほしい人がいるときは、その農地をスマート農業化してもよいと思う。定点カメラを水路等の必要な場所に設置し、池の水の管理や水路水の管理をスマホ等で、その地区の人同士で共有(米の場合)、蓋の空ける、閉めるを(水量調整のため)プラスで管理し、カレンダー機能で誰が田植えかもみんながわかれば、争いも減りそう。(台風のときにみんなそれぞれ田んぼを見に行かなくてよくなり、水路に落ちて死ぬ事故も削減。)</p>	<p>実際の農用地の状況を把握することの大切さについてのご意見として、計画の進捗管理の際に、現状把握の精度をさらに高める大切な視点として参考にさせていただきます。</p> <p>今後の農業戦略に併せて土地利用も対応していく必要がありますので、いただいたご意見について、農業委員会、産業課と共有し、今後の農業戦略の立案に向けて参考にさせていただきます。</p>
2	計画全般	<p>個人の持ち山の管理が今のままでは難しい。木の伐採、下草刈りなど森林組合とか民間の業者に委託することもあるが、今後、費用が出せなくなる事も考えられる。作業の費用を町で半分以上負担してもらい、集落単位で定期的に行う様にするか、町や森林組合の職員を補充してもらって、予算をつけ町主導で定期的に山に入って整備する様なことをしてもらわないと山が荒れるばかりだ。名称は何でもよいが「里山管理課」みたいな部署を作って専門でやる、といったことを考えてほしい。</p>	<p>山の管理の実状及び今後の管理などについてご意見を頂きました。</p> <p>山地の保全や管理、現状把握は計画でも記載している通り、土地利用における課題であると認識しておりますので、産業課と共有し、今後の計画の進捗管理や施策の参考にさせていただきます。</p>
3	第2章 第2節 土地利用の基本方針 ①安全安心できる土地利用 ⑤地域の特色を生かした土地利用	<p>「流域治水」の推進に関する記述追加(全国計画)</p> <p>中心部や生活拠点への都市機能や居住の集約化(全国計画)を受けて、将来的に持続可能な町づくりを目指して「コンパクトシティ」構想の検討に着手するなど総合的かつ計画的な土地利用を図る旨の追加</p>	<p>「流域治水」に関するご意見は、近年の気候変動等による気象の急激な変化に対応する大切なご意見として、また「コンパクトシティ」に関するご意見についても、町の将来の方向につながる大切なご意見として受けとめさせていただきます。</p> <p>いずれのご意見も、今後の町の土地利用のあり方に関係しますが、土地利用は、各分野のめざす姿と現状を踏まえた構想や実現のための戦略を前提としますので、まずは関係課といただいたご意見を共有し、関係分野の構想や戦略の策定または進捗管理、併せて本計画の進捗管理の中でも参考にさせていただきます。</p> <p>議会、地域、町民と協議を重ね、まずは方向性が決まりましたら、土地利用計画に関わる部分について、本計画に内容を反映し、さらに役場内外の関係者で参考にさせていただきます。</p>